

Message memo

- ◇タイトル 『十字架の意味』
- ◇聖書箇所 第2コリント5章13節～21節
- ◇メッセージ 西村希望師
- ◇中心聖句 第2コリント5章17節
ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。



WITH JESUS

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。(イザヤ40:30)

Vol.37-13
2021.3.28

コロナを乗り越える！～Jesus Family 先週の活動～

◆3月27日 キッズオンライン卒業パーティー
キッズイベントで初のオンライン卒業パーティーを開催しました！毎週キッズに来て、キッズスタッフとしても活躍している3人のお友だちの卒業を、みんなと一緒に楽しくお祝いしました♪



後輩のキッズスタッフ達も司会進行をしました★



おやつを食べながらプログラムを楽しみます♪



楽しいゲームタイム！
卒業生からの出題もありました！



たくさんのお友だちがお祝いのために
参加してくれました★

<Vision> 聖書を土台に若者を育て、世界にリーダーを送り出す教会

JESUS FAMILY CHURCH (ジーザス・ファミリー・チャーチ)

ビジョンセンター 東京都町田市三輪町392 TEL:044-385-2964 URL:www.jesusfamily.jp E-mail: info@jesusfamily.jp

みどり野チャペル 横浜市青葉区すすき野2-6-16 TEL 045-902-7898

JESUS FAMILY CHURCH VISION ～チャーチビジョン～

- ①働き手が少ない “収穫は多いが、働き手が少ない。” (マタイ 9: 35～38)
- ②教会を全地に
“…教会は、…全地にわたり築き上げられて平安を保ち、…” (使徒 9: 31)
- ③Love God, Love people
“『…あなたの神である主を愛せよ。』次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』” (マルコ 12: 28～31)

溢れるばかりの祝福をあなたに ～什一献金の恵み～

【什一献金の心得 Part3】 心から献金しましょう
心から神様にお届けするのですから、生活に差しさわりのない献金・余りものの献金を献げる ことがないようにしましょう。

“私はこう考えます。少しだけ蒔く者は、少しだけ刈り取り、豊かに蒔く者は、豊かに刈り取ります。ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます。”
(Ⅱコリント 9章 6, 7節)

EVENTS

- ◆3月30日(火)～31日(水) オンラインぶっとびキャンプ
- ◆4月2日(金)～3日(土) オンラインユースキャンプ
- ◆4月11日(日) ゴスペルフェスタピクニック@こどもの国
- ◆4月30日(金)～5月3日(月) ファミリーキャンプ@聖山高原チャペル

Information

●2月～4月 聖山を応援しよう！月間●

ファミリーキャンプや沢山のユース、キッズの救いと成長のために用いられている『聖山高原チャペル』を与えて下さった神様に感謝を表しましょう。

【聖山高原チャペル 献金お振込先】

◆ゆうちょ銀行からのお振込
金融機関名：ゆうちょ銀行 記号：11180 番号：10138581
口座名義：聖山高原チャペル

◆他行からのお振込
金融機関名：ゆうちょ銀行 店名：一一八 店番：118
口座種別：普通 番号：1013858 口座名義：聖山高原チャペル

【ジーザス・ファミリー・チャーチ 献金お振込先】

◆礼拝・什一・感謝・車両献金
金融機関名：三井住友銀行 支店名：あざみ野支店 口座種別：普通
口座番号：6730043 口座名義：ジーザス・ファミリー・チャーチ

【車両献金についてのお願い】

お振込みで献金される際に、振込人名の前に『シ』とご記載下さい。 例) シ ○○ ○○ (氏名)

祝福タイムズ

With Jesus

牧師 財部利彦

“そのとき、イエスは彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここにいて、わたしと一緒に目を覚ましていなさい。」それからイエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈られた。「わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしが望むようにはなく、あなたが望まれるままに、なさってください。」”

(マタイ 26: 38, 39)

今日から受難週です。受難週というのは、キリスト復活のイースターから1週間前の日曜から土曜のことで、イエス・キリストが十字架にかかれたその週の金曜日を受難日と言います。

できれば苦しみを通りたくはないというのが本心ではあると思いますが、苦しみを通してでなければ生まれないことがあります。キリストは十字架という苦しみの代価を通して救いを与えた。また私たちも今の時代で苦しみを受けていますが、その先には喜びと恵みがあります。

先週、マタイ 26章を読む中で、イエス様が祈っている姿にとっても感動を覚えました。十字架にかかれる前夜のゲッセマネの祈り。この祈りはイエスキリスト自身も苦しかったということがはっきり書いてあります。「できることなら、この杯を過ぎ去らせてください。」と祈る姿に涙をしました。しかし、その祈りの場にいた弟子たちは寝てしまっていた。そして、自分もその時その場にいたら寝てしまっていたのだろうと思う。いつものルーティンになり、初心を忘れてしまう。気がつく信仰でなく、ただの行動、習慣になっている。

心が大事。「自分は何者で？何のため生きているのか？」を自身に問いかけ、主の心を第一に求め、一緒に祈りながら歩みたいと心を熱くされた。そして、イエス様は寝てしまっている弟子のためにも、私やあなたのためにもとりなし祈ってくださっている。

With Jesus, 祈り、寄り添ってくださる方。今週はその祈りの姿勢と大事な受難週のメッセージを受けて歩む週に。